



金メダル級の笑顔でゴールイン！

11月号の主な掲載記事

- ☑ 涌谷町町立幼稚園・こども園
運動会フォトレポート P. 2
- ☑ 財政再建計画の効果額 P. 4
- ☑ 令和5年度の涌谷町の決算 P. 6



アンを目指して
園・こども園
動会

ののだけ幼稚園

ちに、応援にかけつけた保護者から大きな拍手や声援が送られ、白熱した運動会となりました。



さくらんぼこども園





ー
は
だ
ー



涌谷南幼稚園



未来のオリンピック
涌谷町立幼稚

大運



涌谷幼稚園



今年開催されたオリンピックのアスリートのように、ときにひたむきに、ときに輝く笑顔で競技に臨む園児た



ダンス
ー
は
だ
ー



涌谷町財政再建計画の効果額を報告します

令和5年度の効果額は、**8,388万円** でした

計画最終年度となる令和5年度は、3億6,924万円の効果額を見込んでいましたが、物価高騰などの影響による経費の増加で、全38項目のうち18項目で計画の効果額に達せず、当初の見込みより2億8,535万8千円減の、8,388万5千円の効果額になりました。

病院事業計画見直しについては、国の基準に基づき一般会計から病院会計に対して繰出を行っていますが、計画期間中に制度改正等があり、基準に基づく繰出額が当初の予定額よりも増額したことから、効果額に達しなかったものです。

涌谷町財政再建計画5年間の達成率は84.5%と、目標額に2億1,338万円届きませんでしたが、計画推進の成果として、計画策定時に約6億円だった財政調整基金の残高は15億円まで回復し、経常収支比率などの各財政指標が改善されました。

財政再建計画による効果額の見込みと実績

単位：千円

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	合計
財政再建を実施しない場合の不足額 [推計]	△196,230	△194,804	△243,720	△243,461	△288,539	△1,166,754
財政再建を実施した場合の効果額 [見込み] (A)	163,333	241,603	278,354	325,080	369,243	1,377,613
財政再建を実施した場合の効果額 [実績] (B)	191,177	180,032	376,649	332,483	83,885	1,164,226
効果額の増減 (B) - (A)	27,844	△61,571	98,295	7,403	△285,358	△213,387
計画達成率 (B) ÷ (A)	117.0%	74.5%	135.3%	102.3%	22.7%	84.5%

財政再建計画報告会を実施します

開催日	開催場所	対象地区	備考
11月18日(月)	涌谷公民館	西地区 (1区・2の1区・2の2区・2の3区・3区・4区・5の1区・5の2区・6区・7区・8区・9の1区・9の2区・9の3区・八雲区・10区・11区)	いずれの会場も19時～20時30分で開催します。
11月22日(金)	町民医療福祉センター	東地区 (下小塚区・上小塚区・黄金区・日向区・下町区・城山区・上町区・上谷地区・下郡区・上郡1区・上郡2区)	
11月25日(月)	籠岳公民館	籠岳地区 (長根区・小里区・岸ヶ森区・脇区・成沢区・太田区・籠岳区・吉住区・猪岡区・短台区・大谷地区)	

主な効果額の内容

収入の確保(全8項目) 計画 2,931万円
実績 5,471万円
増減 2,540万円

- 1 税等徴収率向上 △162万円
徴収率について前年比0.3%減。
- 2 町民所得向上対策の推進 3,839万円
ブランド米事業、企業誘致などの推進により、所得向上を図る。
- 3 各種施設使用料などの見直し 249万円
施設使用料について減免などを見直し、料金を改定。
- 4 放課後学童クラブ利用料の創設 480万円
受益者負担として利用料を創設。
- 5 ふるさと納税の推進 991万円
積極的なPRの展開や返礼品の商品開発の活性化、企業版ふるさと納税による増。

資産の有効活用など(全3項目) 計画 2,806万円
実績 1,790万円
増減△1,016万円

- 1 八雲児童館機能の集約 887万円
八雲児童館を閉館し、児童クラブに集約。
- 2 普通財産貸付料の見直し 876万円
財産の貸付料などについて見直し。

特別会計など(全8項目) 計画 12,882万円
実績 △8,582万円
増減△21,464万円

- 1 国民健康保険医療費の適正化 456万円
- 2 介護給付費の適正化 262万円
各保険予防事業強化による給付費の適正化。
- 3 後期高齢者保険医療費の適正化 △2,212万円
被保険者および給付費が増加。
- 4 下水道事業経営計画見直し 9,001万円
経営計画を見直し、資本費平準化債などを活用し一般会計負担額を抑制。
- 5 病院事業経営計画見直し △11,217万円
制度変更などにより、繰出基準額が増加。
- 6 老人保健施設事業経営計画見直し △5,000万円
経営計画を見直したが、計画以上の繰出。

経費の見直し(全19項目) 計画 18,306万円
実績 9,710万円
増減 △8,596万円

- 1 特別職人件費の削減 955万円
特別職の給料・報酬について削減。
- 2 職員人件費の削減 407万円
管理職手当について、50%削減。
- 3 定員適正化計画の見直し 7,154万円
退職職員分不補充などによる削減。
- 4 職員時間外勤務の抑制 △41万円
時差出勤制度の活用などによる削減。
- 5 組織見直しに係る各部署の再編 54万円
課の集約による経費の削減。
- 6 各種委託業務の仕様見直し △8,737万円
委託業務量の増加による経費の増。
- 7 消耗的経費の節約推進 364万円
全庁を上げて、消耗的経費の節約を推進。
- 8 指定管理制度の積極的活用 360万円
指定管理制度活用による経費の削減。
- 9 町長等交際費の見直し 201万円
各種交際費について見直し。
- 10 敬老事業の見直し 291万円
敬老祝い金を減額し、敬老会の実施内容を見直し、経費を削減。
- 11 子ども医療費助成事業見直し 574万円
予防啓発活動強化などによる医療の適正化。
- 12 子育て支援事業体制整備 947万円
子育て利用者支援事業の体制を整え、国庫補助制度の活用を図り、一般財源を削減。
- 13 子育て世代包括支援センター設置 387万円
国庫補助制度の活用を図り、一般財源を削減。
- 14 幼児教育・保育負担軽減策 1,363万円
国県からの補助による一般財源の削減。
- 15 各種団体の見直し 5,121万円
各種団体の補助金削減協力による効果。
- 16 会議録作成システムの導入 176万円
会議録作成に要する経費の削減による効果。

一般会計決算のあらまし

令和5年度に皆さんに納めていただいた税金や、国、県から町にどれくらいお金が入ってどのように使われたかなど、町の財政状況をお伝えします。

令和5年度の一般会計決算は、歳入(収入)87億1,526万円、歳出(支出)総額84億5,500万円となり、令和6年度に繰り越す財源を差し引いた2億2,604万円が剰余金(実質収支額)になりました。この剰余金を令和6年度予算に繰り越したのち、地方財政法の規定により、2分の1相当の1億1,302万円を令和6年度基金(町の貯金)に積み立てます。

歳出は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことでワクチン接種費などで減額になりましたが、物価高騰対策をはじめとする各種給付金や農業経営高度化支援事業、町道整備の増額などにより、歳出全体では前年度より2億5,799万円増加した決算になりました。

**町民1人当たりの歳出
(一般会計) 583,910円**

補助費等 145,497円
各種団体への負担金や補助金など

人件費 97,285円
町職員の給与や議員報酬など

扶助費 80,714円
障害者支援、医療費助成など福祉に使うお金

物件費 80,248円
光熱水費、消耗品費、業務委託料などに使うお金

普通建設事業費 51,293円
道路、学校などの新設・改修に使うお金

公債金 39,845円
借入金の返済に係る元金と利子

繰出金 33,957円
国民健康保険など他の会計への繰出金

積立金 24,202円
将来の財源変動に備え積み立て

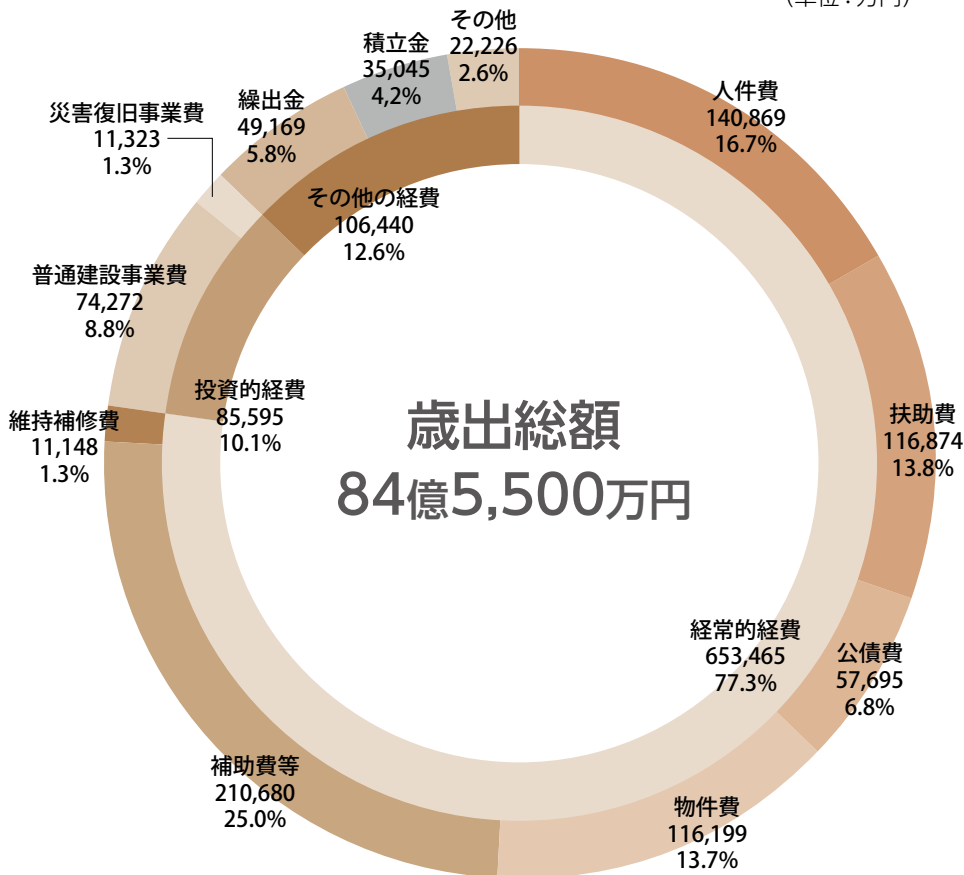
投資および出資金・貸付金 15,350円
企業会計への出資や貸付金

災害復旧事業費 7,820円
被災した公共施設の復旧に使うお金

維持補修費 7,699円
道路、公共施設などの維持補修に使うお金

※町民1人あたりの歳出額は、令和6年3月31日現在の人口14,480人で計算しています。

(単位:万円)



- 泥目木線、尾切線をはじめ、町道、橋りょう、側溝を整備
- 防災ハザードマップ作製
- 原子力災害時の避難帯域検査場所整備の設計
- 籠岳地区町民体育館の改修
- 給食センターの設備改修
- 小中学校特別教室の空調設備整備
- 涌谷第一小学校トイレ改修工事
- 涌谷中学校プール塗装工事

令和5年度

涌谷町の決算をお知らせします

町税

町民税	5億4,813万円
固定資産税	8億5,589万円
軽自動車税	6,377万円
町たばこ税	1億4,096万円
合計	16億875万円

諸収入

預金利子や雑入など

繰入金

基金(町の貯金)から引き出したお金

繰越金

前年度に残ったお金

使用料・手数料

公共施設の利用料金や住民票の写しの交付手数料など

地方交付税

国税のうち町に対して交付されるもの

町債

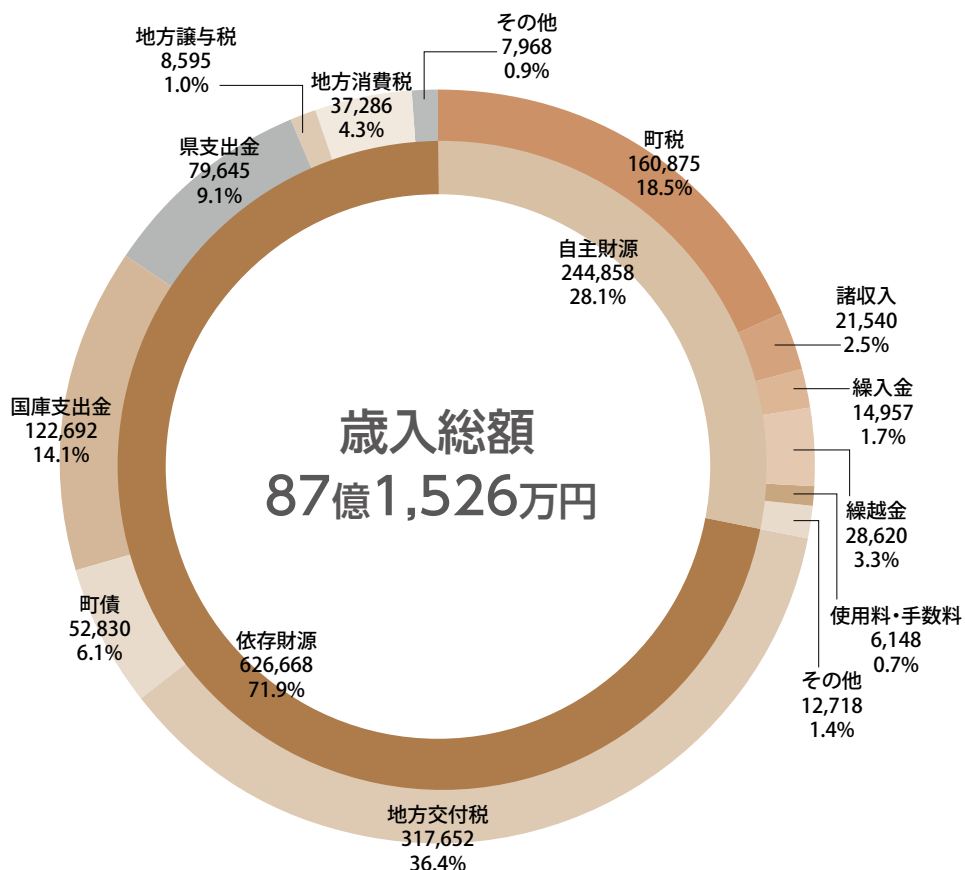
町が国や銀行から借りましたお金

国庫支出金

使い道が特定される国が町に対して支出したお金

県支出金

県が町に対して支出したお金



歳入は、こども園整備補助金や新型コロナウイルス感染症対策などの国庫支出金や地方交付税などが減少したことにより、依存財源の構成比は71.9%になりました。自主財源は町税の減少がありましたが、構成比は全体の28.1%と前年度から0.4%増加しました。歳入全体では前年度より2億3,205万円増加した決算になりました。

【令和5年度に実施した主な事業】

- 新型コロナウイルスワクチン接種
- 全世帯に10,000円、3,000円の各生活応援商品券を配布
- 低所得世帯、子育て世帯への生活支援
- 障害者計画、障害福祉計画・障害児童福祉計画の策定
- たい肥保管庫の整備
- 県営ほ場整備事業による農地の汎用化

特別会計・企業会計の決算状況

企業会計

会計名	収入	支出
水道事業会計		
<収益的収支>	4億720万5千円	3億6,173万4千円
<資本的収支>	3,274万9千円	1億2,385万9千円
給水人口 14,115人	・年間配水量 1,505,659m ³	
給水戸数 5,927戸	・年間有収水量 1,233,443m ³	
下水道事業会計		
<収益的収支>	4億6,739万円	4億5,161万3千円
<資本的収支>	3億8,932万8千円	5億2,700万4千円
接続人口 5,810人	・年間処理水量 637,980m ³	
接続戸数 2,263戸	・年間有収水量 596,243m ³	
国民健康保険病院事業会計		
<収益的収支>	20億9,580万9千円	20億8,792万5千円
<資本的収支>	1億8,916万6千円	2億3,090万2千円
患者数 入院 32,324人(年間延)(1日平均 88.3人)		
外来 48,924人(年間延)(1日平均 201.3人)		
老人保健施設事業会計		
<収益的収支>	5億6,530万9千円	5億7,689万6千円
<資本的収支>	3,794万3千円	3,937万3千円
入所者数 26,580人(年間延)(1日平均 72.6人)		
通所者数 8,439人(年間延)(1日平均 27.7人)		
訪問看護ステーション事業会計		
<収益的収支>	6,042万9千円	6,396万3千円
<資本的収支>	—	1,128万1千円
訪問看護利用者数 4,125人(年間延)(1日平均 13.9人)		
訪問リハ利用者数 3,170人(年間延)(1日平均 13.0人)		

特別会計

会計名	収入	支出
国民健康保険特別会計	21億3,001万8千円	21億1,055万6千円
・被保険者数		3,548人
・一人当たり費用		476,047円
後期高齢者医療保険特別会計	2億1,215万6千円	2億588万8千円
・被保険者数		2,923人
介護保険特別会計	19億3,179万6千円	18億8,905万1千円
・被保険者		5,856人
・要介護(要支援)認定者数		1,050人
・保険給付費		16億8,095万8千円



資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

健全化判断比率などの状況(令和5年度決算)

(1) 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15.00)	— (20.00)	5.8 (25.0)	— (350.0)

※()内は早期健全化基準です。実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字であるため「—」で表示しています。

(2) 資金不足比率

会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業会計	—	
国民健康保険病院事業会計	—	
老人保健施設事業会計	—	
訪問看護ステーション事業会計	—	

※地方公共団体の公営企業会計ごとの資金の不足額の度合いを表す指標で、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいわれています。20%以上で経営健全化団体となり公営企業の経営健全化を図る計画を策定しなければなりません。